

調査レポート

グラフで見る東海経済 (2012年3月)

【今月の景気判断】

東海地域の景気は、緩やかに持ち直している。景気全体をけん引しているのが自動車の挽回生産で、鉱工業生産は2ヶ月連続プラスと急速に持ち直している。海外での自動車の在庫を復元する動きや米国市場での自動車販売増に加え、国や愛知県の自動車購入支援策の拡充により国内販売台数も回復基調となっている。設備投資は底堅く推移している。雇用環境は、非正規を中心に東海3県とも緩やかに持ち直しているほか、所定外給与を中心に賃金は緩やかに持ち直しているが、個人消費は横ばい圏で推移している。

今後も、円高の一服や米景気の持ち直しなど輸出環境も好転しつつあることに加え、政策効果にも支えられて、小型車を中心に自動車の生産・販売増加が続く見込みである。東海地域の景気は緩やかな持ち直しが続きそうだ。

【今月の景気予報】

	3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後		3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後
景気全般	↗		→	輸出	↗		→
個人消費	→		↗	輸入	↗		↗
住宅投資	↘		↗	生産	↗		→
設備投資	→		→	雇用	↗		→
公共投資	↘		→	賃金	↗		→

(注) 1. 3ヶ月前～、～3ヶ月後は「現況」の変化の方向感(改善、横ばい、悪化)を表し、「現況」は現在の水準を天気マークで表す。
2. シャド一部分は、前月から矢印および天気マークを変更した項目を表す。

【当面の注目材料】

- ・世界景気 ～ 原油価格など商品市況の動向、米国の消費動向、中国の景気減速、欧州債務危機の動向
- ・企業活動 ～ 挽回生産後の自動車の生産・販売動向、設備投資の先行き、円高一服後の為替動向
- ・家計 ～ 雇用・所得環境の先行き、自動車など耐久財消費の動向、株高とガソリン高が消費に与える影響

～本レポートについては最終ページ【「グラフで見る東海経済」の見方】参照

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

調査部 内田 俊宏 (chosa-report@murc.jp)

〒460-8621 名古屋市中区錦3丁目20-27

TEL:052-203-5321

【各項目のヘッドライン】

項目	2月のコメント	3月のコメント	ページ
1. 景気全般	—	緩やかに持ち直している	3~4
2. 生産	—	急速に持ち直している	5~6
3. 雇用	—	緩やかに持ち直している	7
4. 賃金	—	緩やかに持ち直している	8
5. 個人消費	—	横ばい圏で推移	9~10
6. 住宅投資	—	弱含んでいる	11
7. 設備投資	—	底堅く推移している	11~12
8. 公共投資	—	減少傾向にある	12
9. 輸出入	—	輸出は下げ止まり、輸入は増加基調	13~14
10. 物価	—	消費者物価は横ばい	14
11. 金融	—	預金、貸出ともに増加	15
12. 倒産	—	倒産件数は減少	15

【今月のポイント】

1. 景気全般

自動車の挽回生産により企業部門が回復基調、輸出や設備投資、雇用環境などに底堅さ

2. 生産

1月の鉱工業生産は前月比+2.6%と2ヶ月連続で増加し、3月までは自動車の挽回生産が続く見通し

3. 雇用

東海3県とも緩やかな改善傾向が続いているが、非正規雇用を中心とした改善にとどまっている

5. 個人消費

百貨店や家電など買回り品は弱含みだが、自動車支援策の拡充により自動車販売は好調

9. 輸出入

欧州向け・中国向け輸出は弱い動きとなっているが、米国向け輸出は二桁増と好調

【主要経済指標の推移】

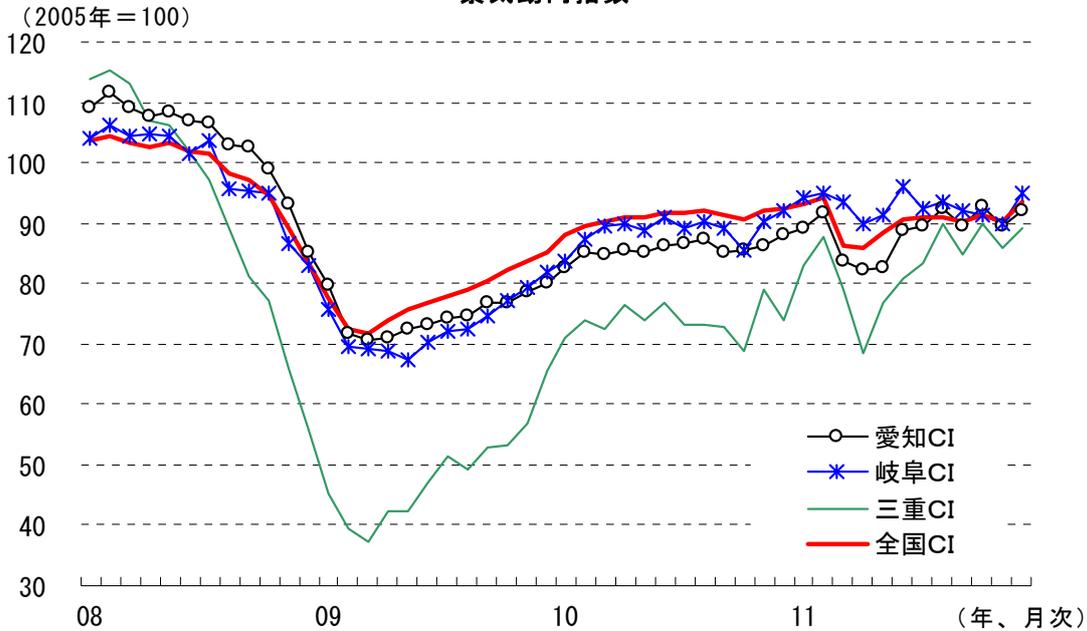
経済指標		10 10-12	11 1-3	11 4-6	11 7-9	11 10-12	11 9	11 10	11 11	11 12	12 1	12 2
景気全般	景気動向指数 愛知 (C I、一致指数)	86.6	88.2	84.6	90.5	91.5	89.4	92.7	89.6	92.2		
	岐阜 (C I、一致指数)	89.3	94.3	92.4	92.7	92.1	92.0	91.4	89.9	95.0		
	三重 (C I、一致指数)	73.9	83.2	75.4	86.0	88.3	84.7	90.0	85.9	89.1		
	景気ウォッチャー調査 (現状判断DI)	42.7	41.4	36.8	49.5	46.2	47.7	45.8	45.3	47.4	46.4	46.8
	(先行判断DI)	42.0	41.3	42.7	48.8	44.5	47.8	45.3	45.2	43.1	46.3	48.1
	短観業況判断DI (大企業製造業)	5	13	-25	20	4	7 <3月予想>					
	(中小企業製造業)	-7	-6	-29	-4	-7	-16 <3月予想>					
(非製造業)	-14	7	-24	-13	-4	-10 <3月予想>						
法人企業統計経常利益 製造業(兆円)	0.2	0.0	0.1	0.2	0.3							
非製造業(兆円)	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2							
生産	鉱工業生産 (季節調整済、前期比・前月比)	-1.8	-1.9	-12.7	15.8	-0.3	-4.2	4.4	-8.2	11.4	2.6	
	鉱工業出荷 (季節調整済、前期比・前月比)	-1.8	-0.8	-13.2	17.2	0.7	-3.0	4.5	-8.9	10.6	0.9	
	鉱工業在庫 (季節調整済、前期比・前月比)	0.8	0.4	0.1	4.2	-2.5	-1.4	-1.3	-0.7	-0.3	1.2	
	鉱工業生産 輸送機械 (")	-7.7	-6.4	-25.5	51.2	4.0	-8.0	9.9	-14.8	20.9	3.6	
	一般機械 (")	-0.2	8.0	6.3	0.2	-4.7	-7.6	2.7	-1.5	-2.3	3.2	
	電子部品・デバイス工業 (")	-1.0	1.7	-17.0	-4.1	2.5	1.0	-11.1	12.7	18.5	-4.5	
	プラスチック製品工業 (")	-1.5	-0.1	-8.0	11.9	2.0	-4.0	2.6	-2.9	7.7	2.9	
	化学 (")	3.9	4.1	-3.2	-2.0	1.8	8.3	-2.0	-6.5	10.0	-11.7	
	電気機械 (")	-1.0	3.9	-7.3	8.9	-3.8	-2.9	-2.1	-3.6	3.2	0.1	
	大口販売電力量	6.3	2.4	-2.4	-0.5	1.9	-1.2	2.2	1.6	1.9	1.2	
雇用	完全失業率 (原数値、%)	3.7	4.0	3.9	3.5	3.5						
	就業者数 (季節調整値、万人)	776	782	767	767	769						
	有効求人倍率 愛知 (季節調整値、倍)	0.7	0.8	0.8	0.9	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	
	岐阜 (季節調整値、倍)	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	
	三重 (季節調整値、倍)	0.6	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	
	新規求人倍率 愛知 (季節調整値、倍)	1.2	1.3	1.3	1.4	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	
岐阜 (季節調整値、倍)	1.1	1.2	1.2	1.2	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4		
三重 (季節調整値、倍)	1.0	1.1	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3		
賃金	現金給与総額	1.1	0.0	-1.5	1.5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2		
	所定内給与	0.1	-1.1	-1.2	-0.7	-0.6	-0.8	-0.6	-0.3	-0.7		
	所定外給与	9.9	4.9	-6.3	2.4	7.4	4.0	8.8	5.3	8.1		
	勤労者世帯 (含む農家) の名目収入 勤め先収入	0.8	-3.1	-5.9	2.4	-1.5	-1.3	-2.1	-1.3	-1.4	5.2	
定期収入	-0.9	-4.4	0.6	-1.7	-0.2	-1.4	-3.2	0.8	1.8	4.2		
個人消費	実質消費支出 (うち勤労者世帯/農林漁家含む)	7.7	-5.9	1.2	-8.7	-1.1	-5.0	-2.5	-7.9	7.1	-6.3	
	名目消費支出 (うち勤労者世帯/農林漁家含む)	7.5	-6.5	0.7	-8.8	-1.2	-4.9	-2.7	-8.3	7.0	-6.2	
	百貨店販売高 (名古屋市内)	-0.6	-3.8	-5.0	-5.1	-1.3	-2.0	-0.4	-3.8	-0.1	-2.2	
	百貨店+スーパー販売高 (百貨店名古屋市内除)	2.3	1.8	0.8	-0.5	-0.8	-2.9	-0.6	-2.1	0.3	0.1	
	コンビニエンスストア販売額	1.3	8.8	7.9	4.9	12.6	-7.3	17.0	9.0	3.2	1.1	
	消費者態度指数 (一般世帯、原数値)	41.1	40.5	35.1	38.7	38.6	39.0	39.7	37.6	38.5	40.0	39.5
	家電販売額						-31.2	-45.0	-66.2	1.9	-9.7	
新車登録台数 (除軽)						8.0	34.0	28.1	24.7	46.2		
住宅投資	新設住宅着工戸数	6.4	-2.3	-2.8	8.5	-14.4	-17.4	-12.7	-19.5	-10.9	-7.6	
設備投資	法人企業統計設備投資 (製造業)	22.6	17.4	-12.6	-8.0	-10.5						
	(非製造業)	27.3	-2.3	-5.6	1.6	1.7						
	金属工作機械受注 総受注 (億円)	280.2	338.4	375.8	372.9	363.5	366.0	327.5	382.9	380.0	310.4	
	国内受注 (億円)	88.8	101.1	107.3	119.2	116.5	117.0	104.4	119.1	126.0	96.0	
海外受注 (億円)	191.4	237.3	268.4	253.7	246.9	249.0	223.0	263.8	254.0	214.4		
公共投資	公共工事請負額	-15.4	-6.0	-19.7	-6.2	-5.7	11.5	-8.5	1.8	-11.5	-8.2	-16.6
輸出入	通関輸出 (金額ベース、円建て)	6.4	0.2	-17.1	4.0	0.4	9.9	5.0	0.6	-4.0	-3.1	2.3
	通関輸入 (金額ベース、円建て)	8.6	15.6	19.2	25.6	21.6	26.9	27.9	22.7	14.8	20.6	7.6
物価	消費者物価指数 (除く生鮮)	-1.0	-0.8	-0.2	0.1	-0.1	0.2	-0.2	-0.1	-0.1	0.1	
	(食料及びエネルギーを除く総合)	-1.4	-1.4	-1.0	-0.7	-1.2	-0.6	-1.1	-1.2	-1.2	-0.9	
金融	国内銀行預金残高	1.0	0.7	2.1	2.9	3.2	3.0	3.0	3.4	3.2	3.3	
	国内銀行貸出残高	-1.2	-1.6	0.1	0.7	1.4	1.1	1.6	1.2	1.4	1.5	
倒産	倒産件数	-13.4	21.4	29.6	-14.3	2.7	-7.8	-12.0	32.1	-8.4	0.9	-7.2

(注) 括弧書きのない場合は、単位は前年比、%

1. 景気全般 ～緩やかに持ち直している

○12月の東海3県の景気動向指数・C I一致指数は、愛知と三重は2ヶ月ぶり、岐阜は5ヶ月ぶりに前月を上回った。タイ洪水の影響により一部車種が生産停止に追い込まれた11月の状況からは脱している。愛知県のC I一致指数は、8系列のうち、5系列が上昇、3系列が低下と、依然としてプラス・マイナスは拮抗している。

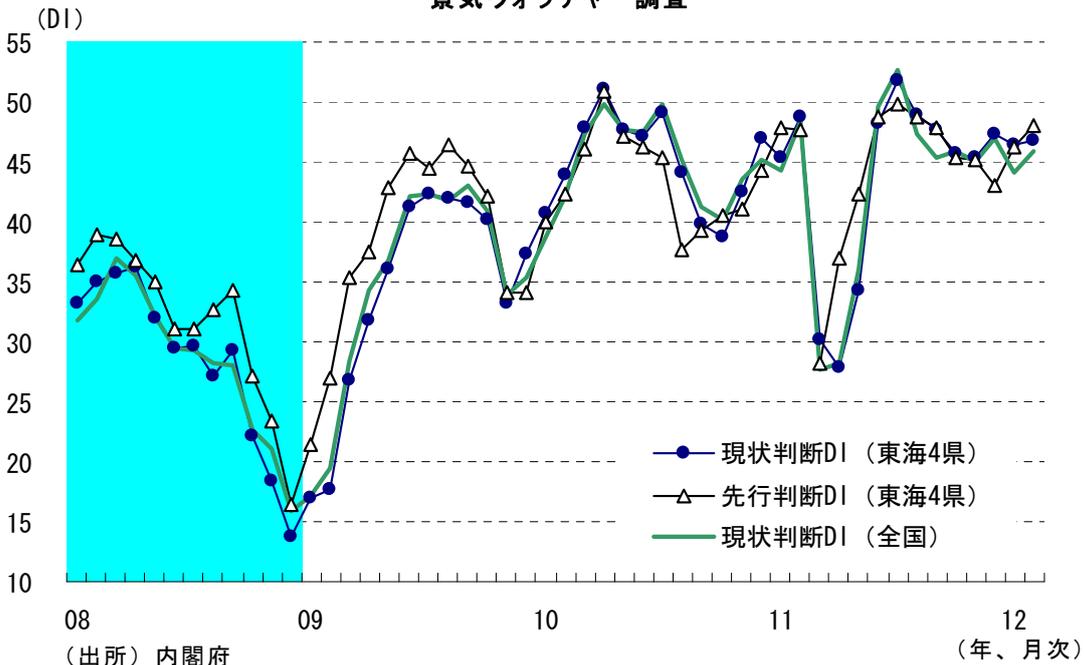
景気動向指数



(出所) 内閣府、各都道府県

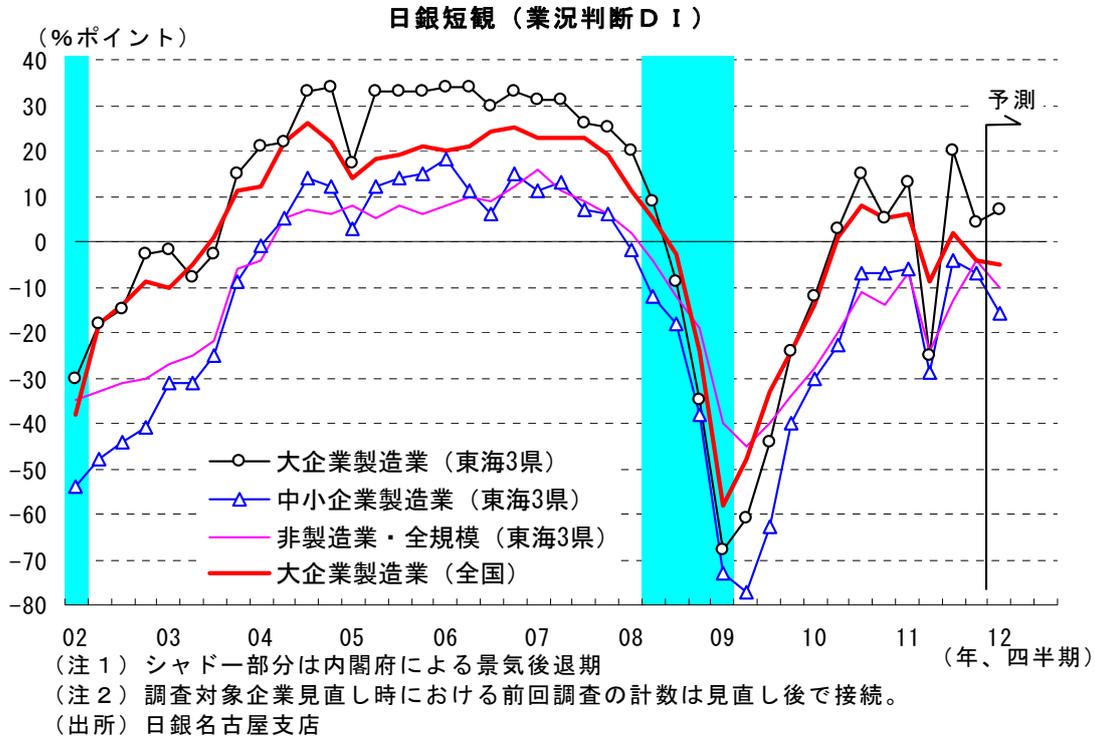
○2月の東海4県の景気ウォッチャー調査は、足元の景況感を示す現状判断D Iが前月比0.4ポイント高い46.8と2ヶ月ぶりに前月を上回った。また、先行き判断D Iは48.1と2ヶ月連続で改善した。好不況の分かれ目を示す50を依然として下回っているが、円高修正による自動車の輸出環境の改善や、エコカー補助金や株高による追い風により、先行きへの期待感は徐々に高まってきている。

景気ウォッチャー調査

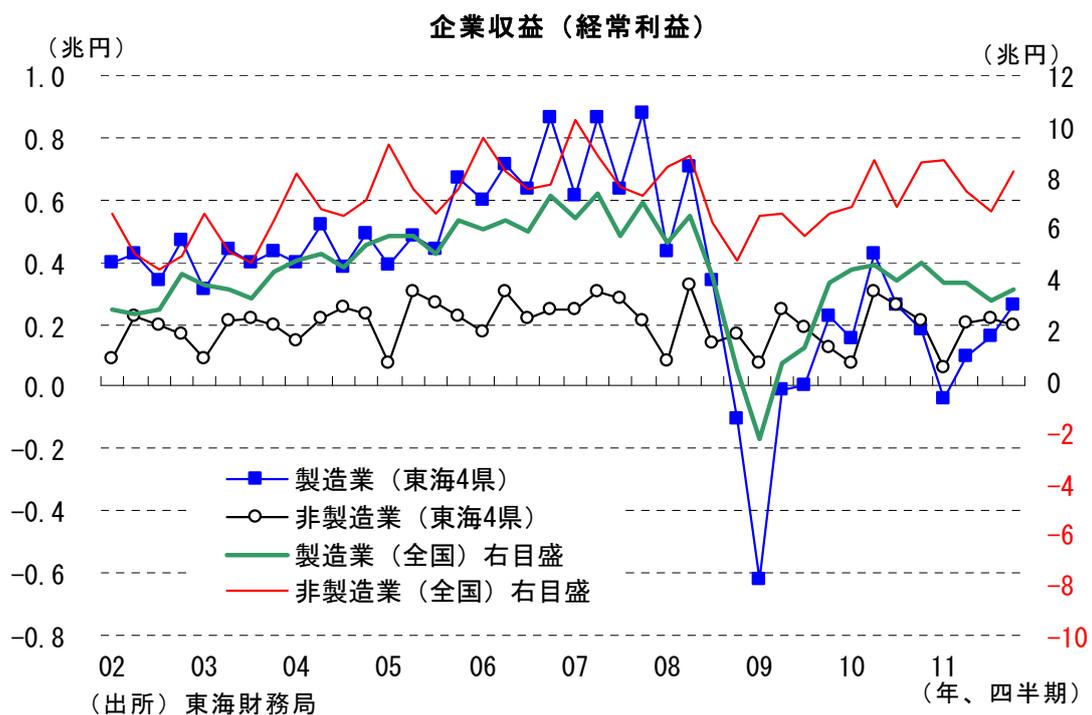


(出所) 内閣府

○12月調査では、東海3県の大企業製造業の業況判断DI（「良い」－「悪い」）は+4と、全国の-4と比べると高いものの、前回9月調査から16ポイント悪化した。タイ洪水で部品調達に影響の出た自動車産業が減産を強いられ景況感が悪化した。一方、中小企業は、製造業・非製造業ともマイナスで、いずれも前回よりマイナス幅を拡大させた。先行きに対しては慎重な見方が続いている。

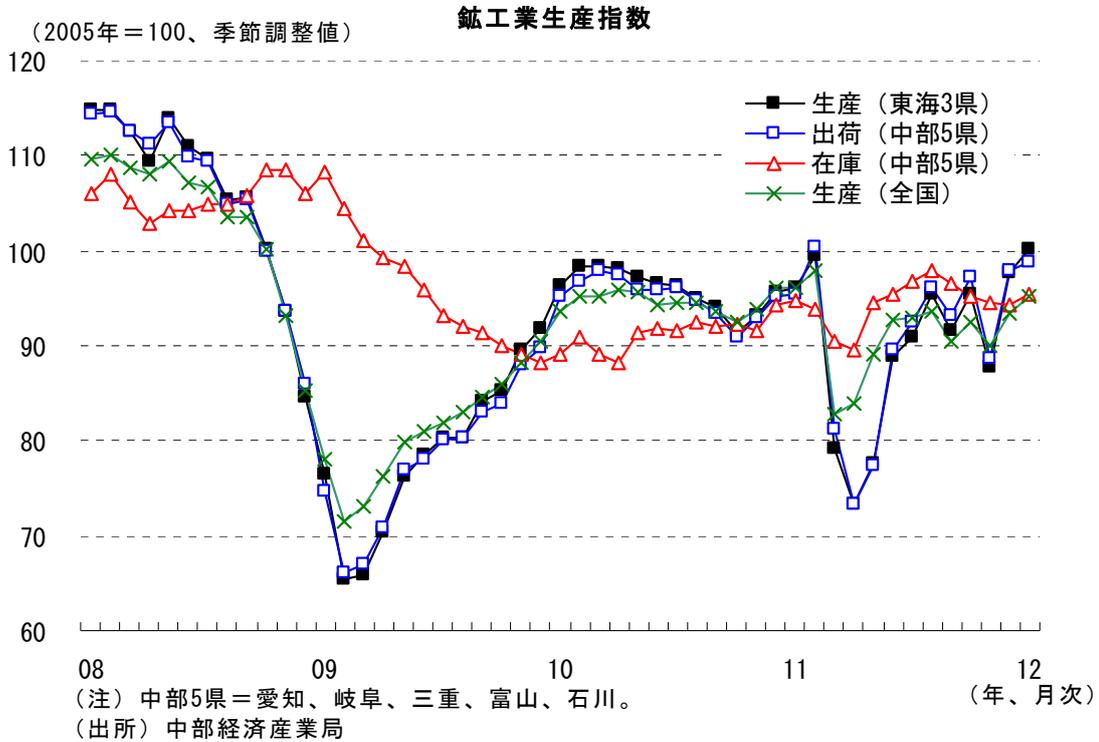


○2011年10～12月期の東海4県の企業収益（経常利益、製造業）は前期比+41.9%と大幅に増加したが、円高やタイ洪水の影響もあり震災前の水準を回復していない。非製造業では前期比-4.5%と小幅に減少した。今後は、資源価格の高止まりや欧州経済の低迷や中国経済の減速などが下押し要因となるが、米国経済の持ち直しや自動車の挽回生産に合わせて、製造業の企業収益は増加が見込まれる。

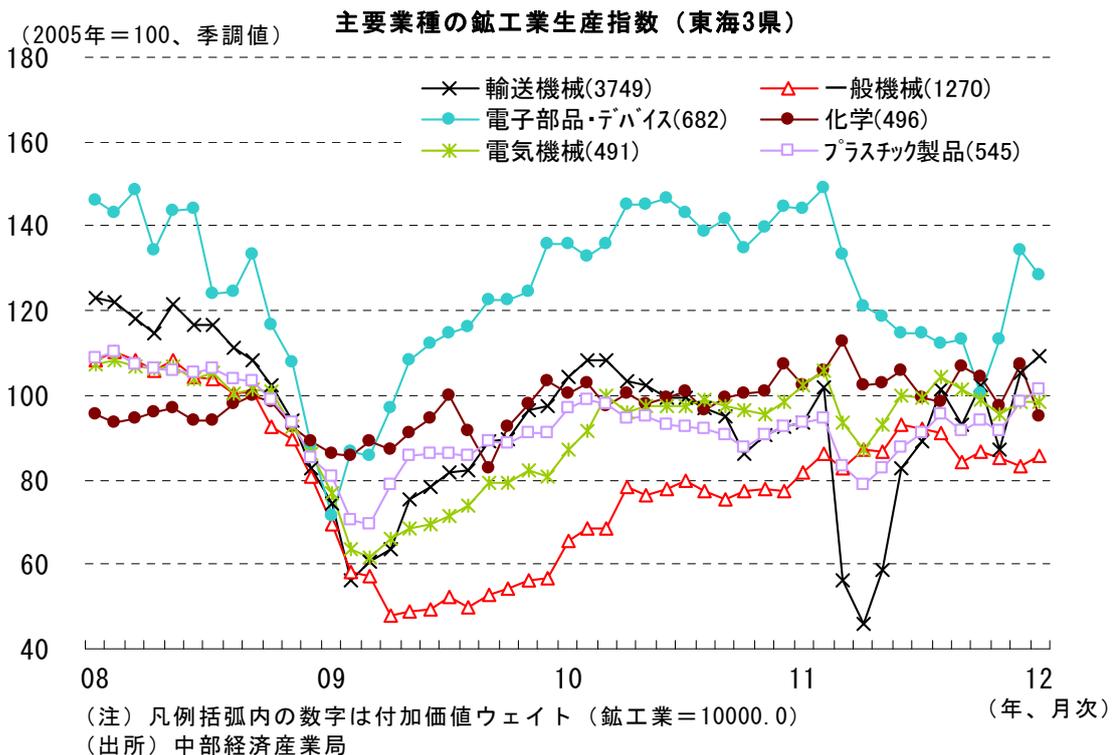


2. 生産 ～急速に持ち直している

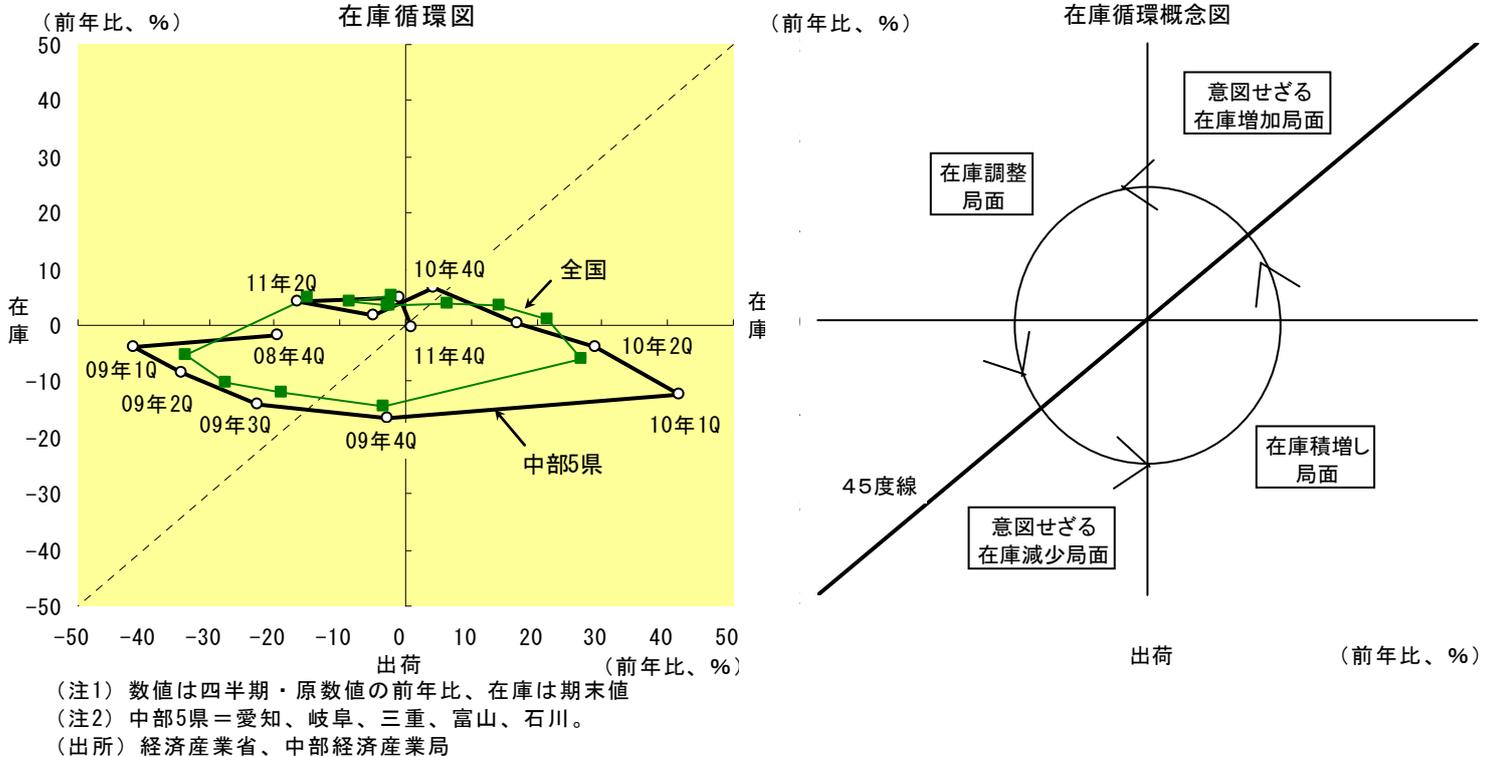
○1月の東海3県の鉱工業生産指数（確報値）は100.2と、前月比で+2.6%となり、2ヶ月連続で前月を上回った。震災直前のピークだった2011年2月（99.4）を上回った。震災以降のサプライチェーン復旧やタイ洪水後の復旧に伴う挽回生産によって東海地区の生産は急速に持ち直している。ただ、4月以降、挽回生産が一段落すると持ち直しが一服すると見込まれる。



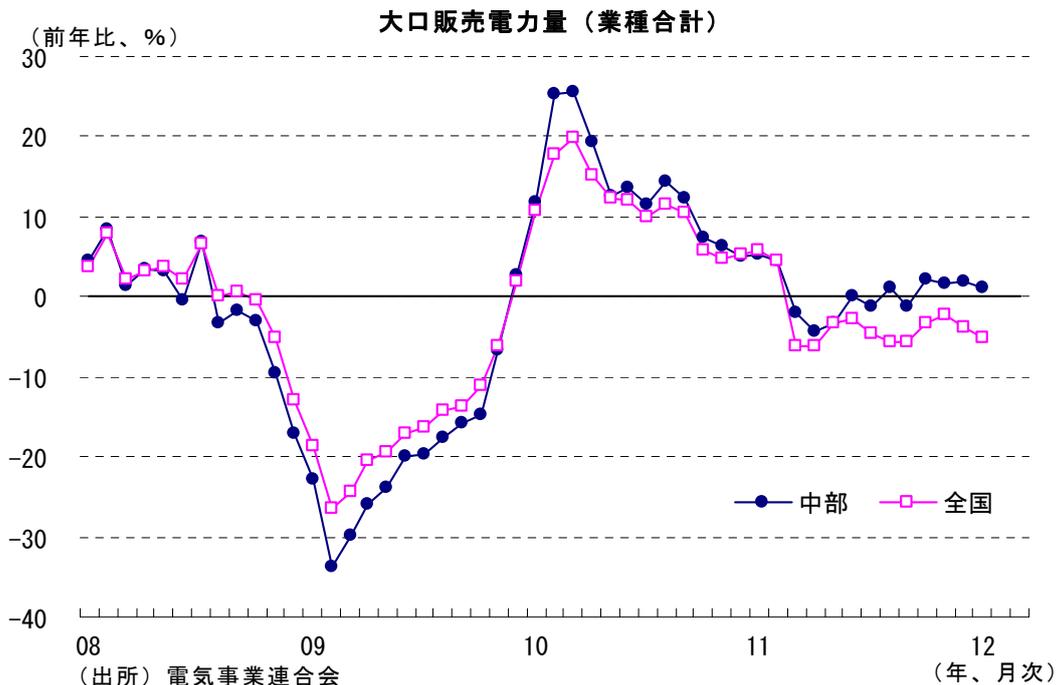
○業種別では、新型車投入やエコカー補助金などの効果で自動車関連の生産が好調で、自動車や自動車部品などの輸送機械工業が前月比+3.6%、鉄鋼業が同+4.5%、金属製品が同+4.6%、プラスチック製品工業が同+2.9%と増加している。



○1月の中部5県の出荷は、輸送機械などを中心に前月比+1.2%と小幅に増加し、在庫も、輸送機械を中心に同+1.3%となった。自動車関連では不足している在庫復元を目指す動きがみられるものの、液晶素子や電子部品では需要の減少によって積み上がった在庫を削減する動きが続いている。在庫は、総じてみると調整局面にあり、一進一退の動きがしばらくは続く見込まれる。

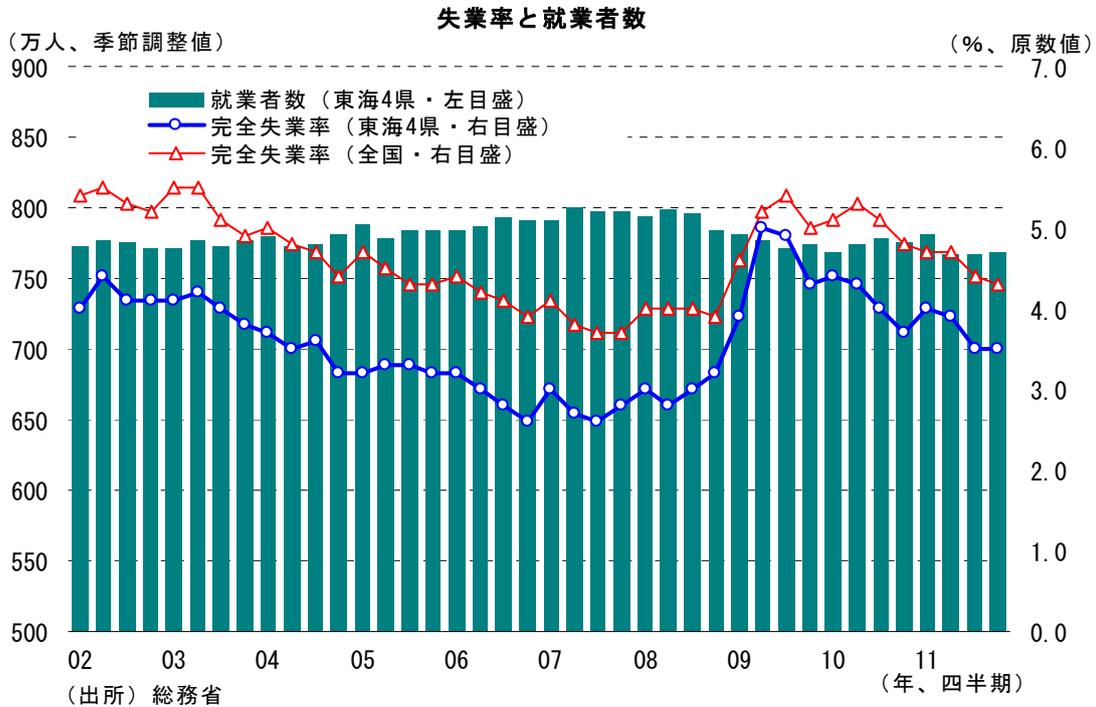


○1月の中部電力管内の大口電力（契約電力500kw以上）は+1.2%（前月比-0.7ポイント）と、4ヶ月連続で増加した。自動車生産が回復基調にあることが寄与し、全国を上回る伸びが続いている。業種別でも、自動車などの機械工業向けが+3.3%、自動車向け材料を生産している鉄鋼業向けは+7.7%と増加した。一方、販売電力量全体では、-2.5%と10ヶ月連続でマイナスとなった。

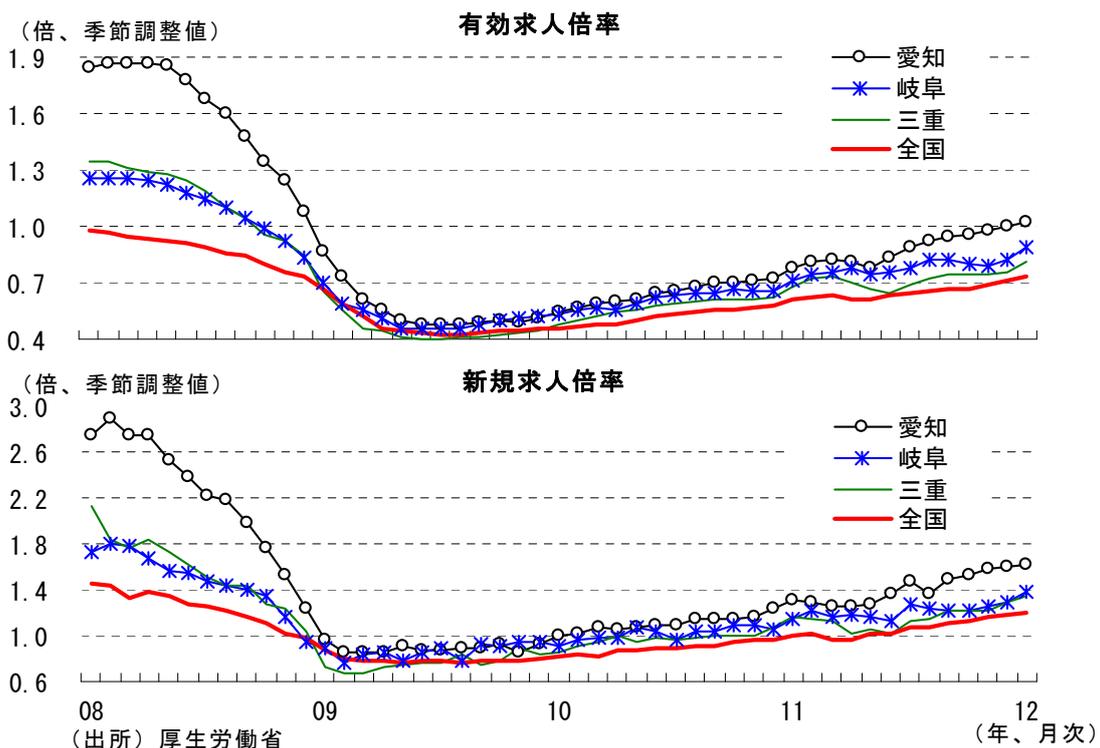


3. 雇用 ～緩やかに持ち直している

○2011年10～12月期の東海4県の完全失業率は3.5%（前期比±0）と横ばいとなったが、全国の4.3%と比べて低い水準で推移している。震災以降の生産復旧に伴う改善傾向は続いていると考えられる。2011年10～12月期の就業者数は前期比+2万人の微増となったが、今後の雇用情勢も、自動車の挽回生産を背景に緩やかなペースでの改善が見込まれる。

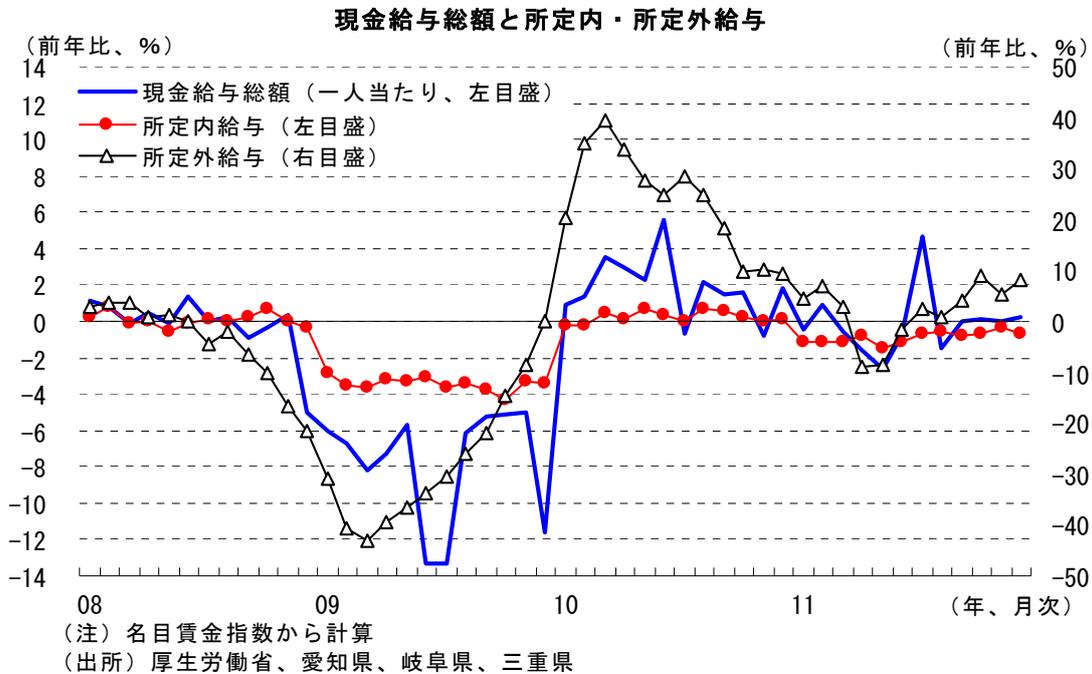


○1月の東海3県の有効求人倍率は、愛知1.02倍、岐阜0.89倍、三重0.81倍といずれも上昇し、2ヶ月連続で3県とも改善した。ただ、1倍を超えている愛知県でも、正社員に限った有効求人倍率は0.74倍にとどまっており、新規求人数の半数以上を非正規雇用が占めるなど雇用情勢は不安定である。一方、新規求人倍率も、愛知1.61倍、岐阜1.39倍、三重1.34倍と3県とも改善した。

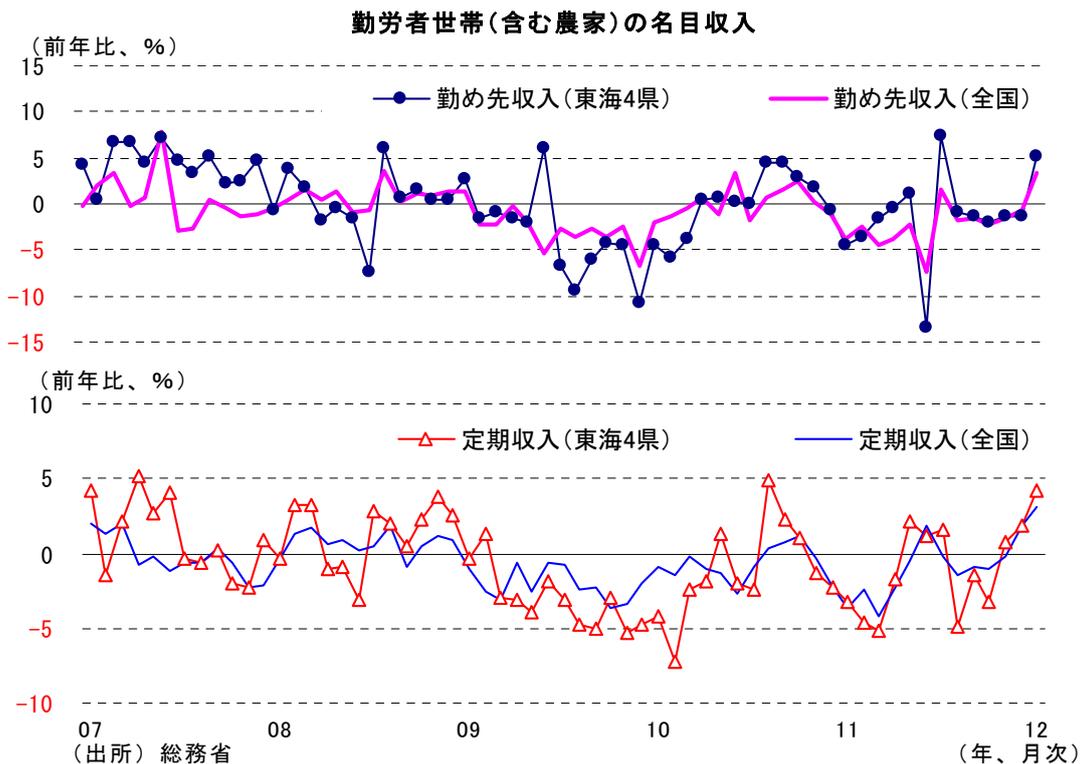


4. 賃金 ～緩やかに持ち直している

○12月の一人当たり現金給与総額（確報値）は前年比+0.2%と小幅ながら4ヶ月連続の増加となった。所定内給与は前年比-0.7%と12ヶ月連続で減少したものの、所定外給与は前年比+8.1%と6ヶ月連続で増加した。今後、賃金は持ち直していくとみられるものの、企業の人件費抑制姿勢は根強く、緩やかな伸びにとどまるだろう。

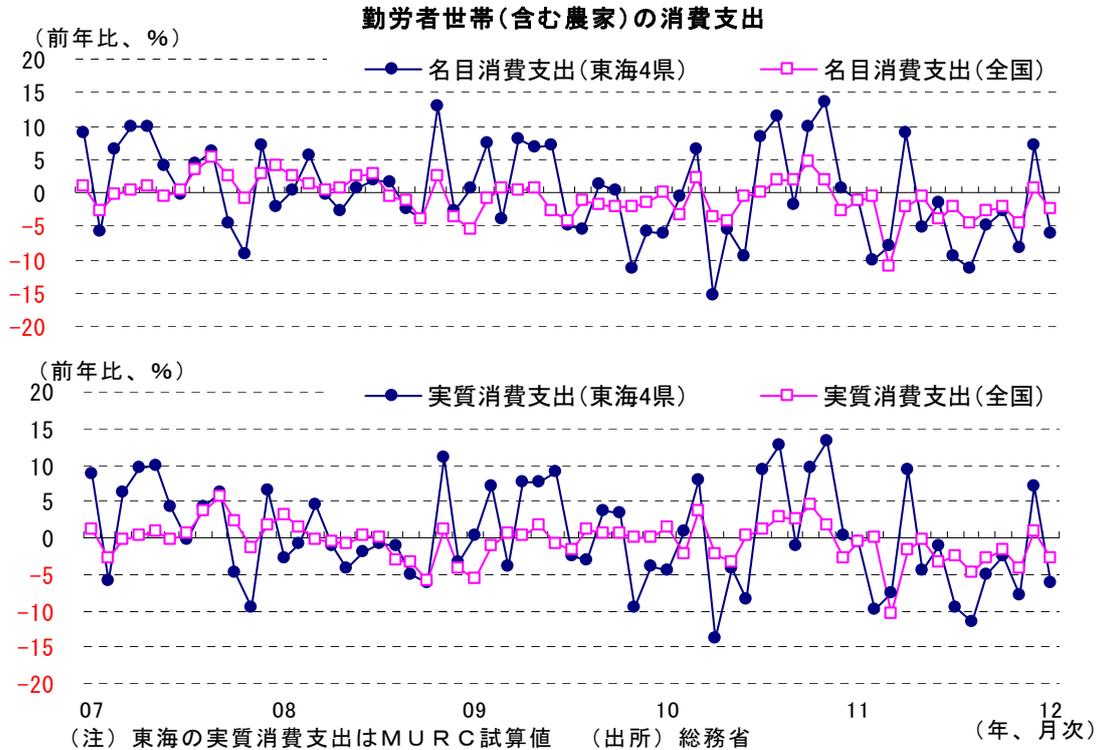


○家計調査によると、1月の東海4県の勤労者世帯（含む農家）の賞与を含む勤め先収入は前年比+5.2%と6ヶ月ぶりに増加した。定期収入も前年比+4.2%と3ヶ月連続の増加となった。製造業の生産増を背景に所定外給与の増加が寄与し、持ち直し傾向が続くと見込まれる。

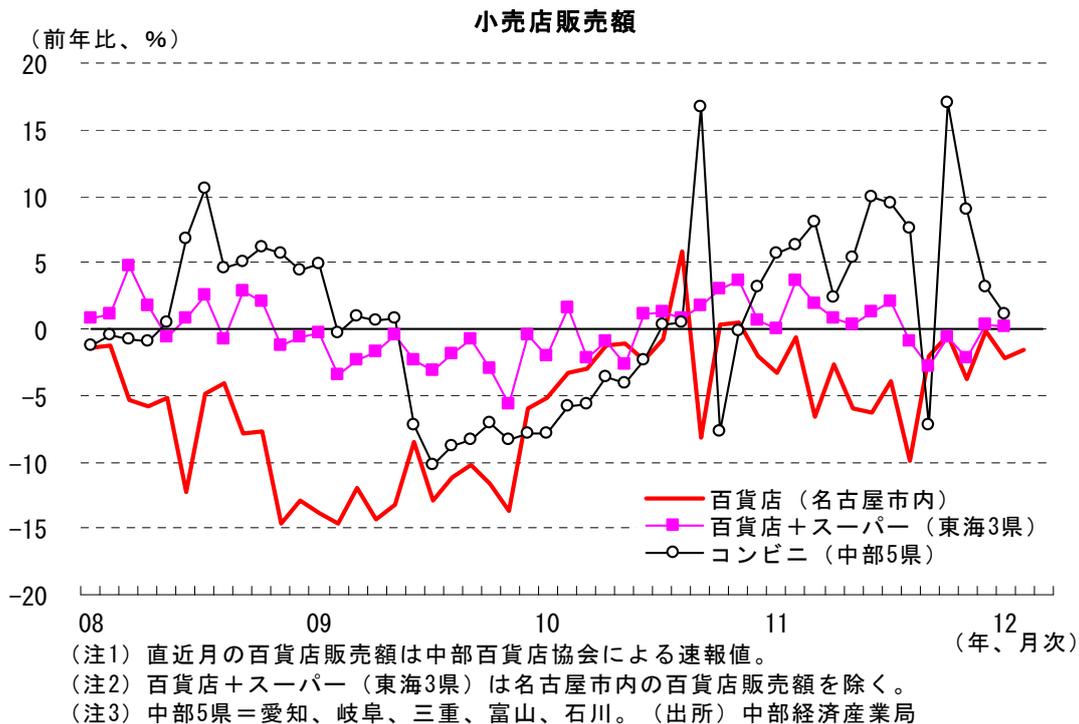


5. 個人消費 ～横ばい圏で推移

○1月の東海4県の勤労者世帯（含む農家）の名目消費支出は前年比-6.2%と2ヶ月ぶりに減少した。全国の-2.6%より落ち込みが大きい。最近では全国の伸びを下回ることが多く、東海の個人消費は全国よりもやや弱い動きとなっている。今後は、緩やかながらも雇用・所得環境が回復すると予想され、個人消費は一進一退を続けながらも底堅く推移すると見込まれる。

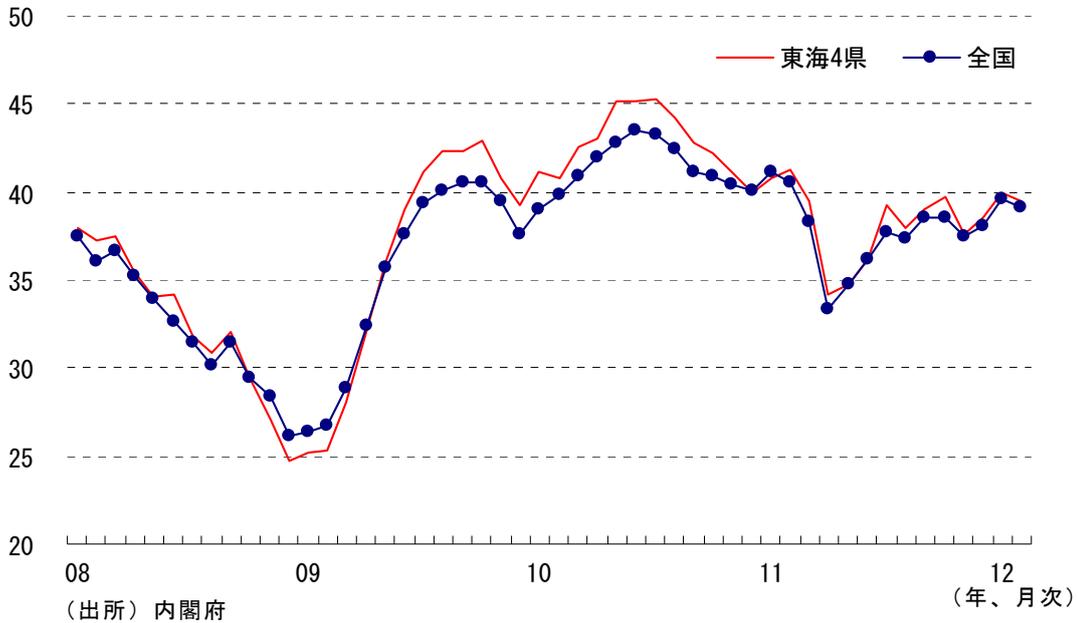


○2月の名古屋市内の百貨店販売額（速報値）は前年比-2.2%と14ヶ月連続で減少した。一部百貨店の改装に伴う売り場面積の減少も影響して高額消費は弱含みとなっている。一方で、1月の東海3県の大型小売店（百貨店+スーパー）の販売額は+0.1%と2ヶ月連続で小幅増加が続いたほか、1月の中部5県のコンビニエンスストア販売額は+1.1%と4ヶ月連続で増加し、日用品は堅調に推移している。

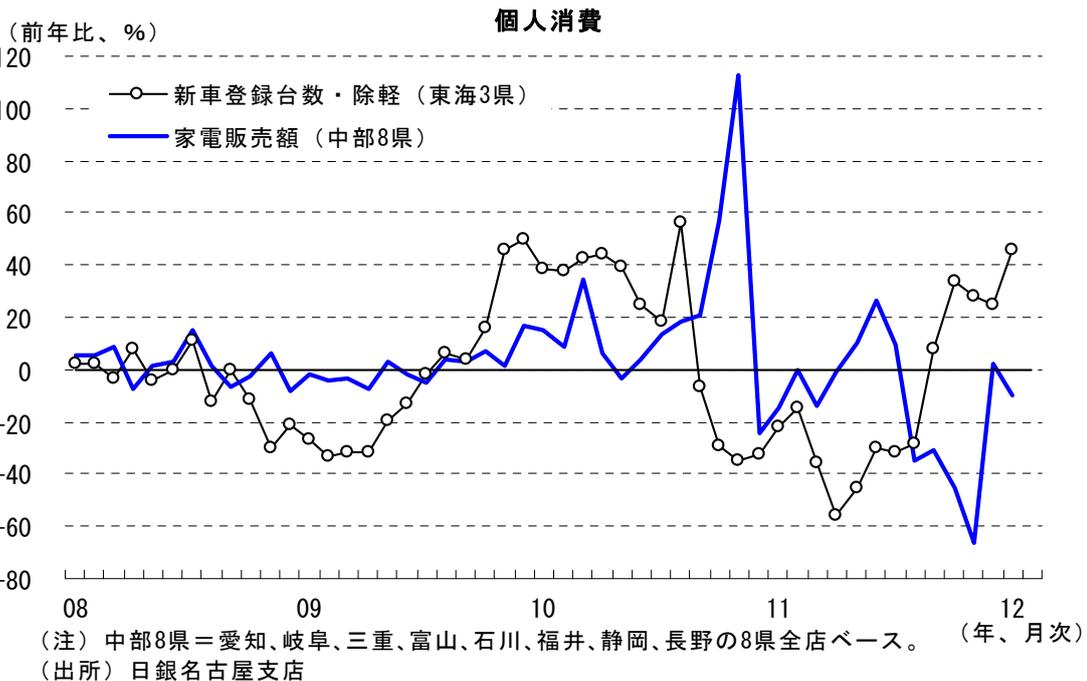


○消費者マインドを表す指標とされる消費者態度指数（東海、一般世帯、原数値）は震災からの改善基調が続いているが、2月は前月比で0.5ポイント低下し、前年同月比では1.8ポイントの低下となった。自動車の生産動向の影響を受けやすく、全国と比べてやや高い水準での推移が続いていたが、最近では全国とほぼ同水準での推移となっている。

消費者態度指数（一般世帯、原数値）

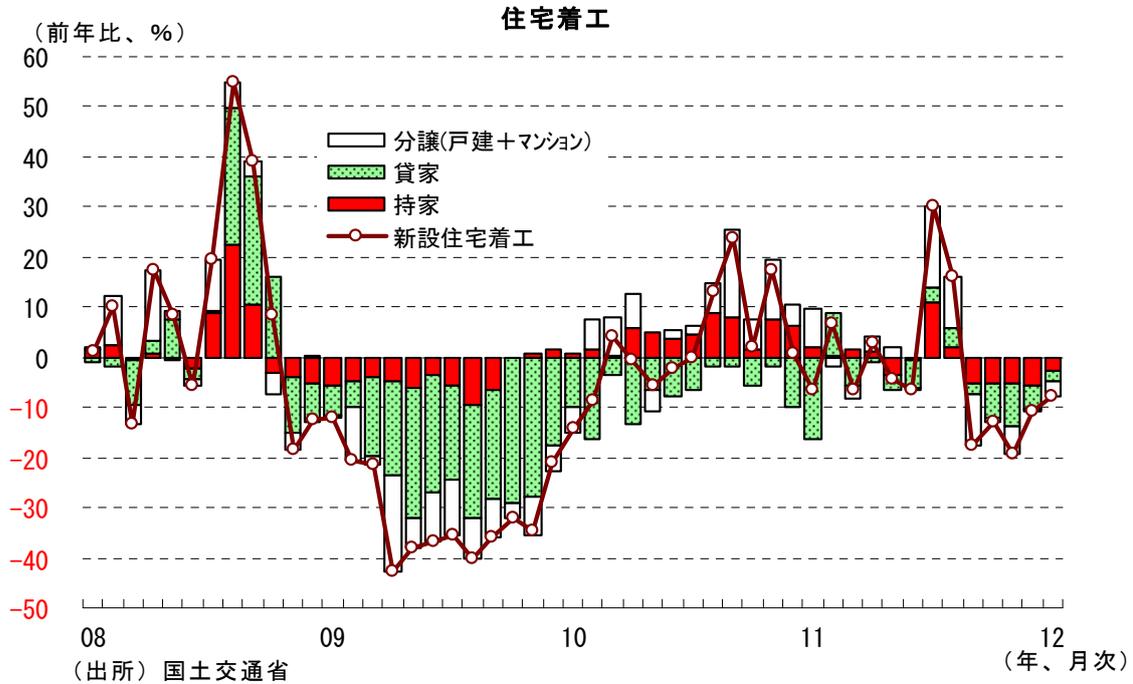


○1月の東海3県の新車登録台数（乗用車、除軽）は、前年がエコカー補助金終了直後の反動で低水準だったこともあり、前年比+46.2%と大幅に増加した。今後も、エコカー補助金の復活により好調な販売が続くと見込まれる。一方、1月の中部8県の家電販売額は前年比-9.7%と2ヶ月ぶりに減少した。スマートフォンなどの高機能携帯は堅調だが、主力のパソコンやテレビなどが不振だった。



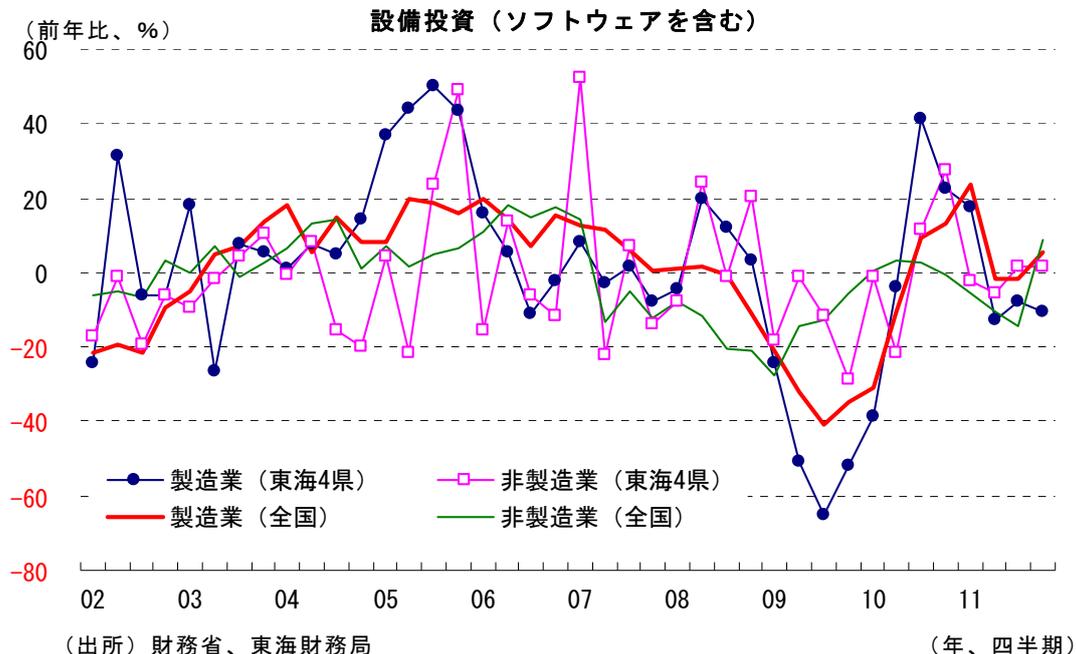
6. 住宅投資 ～弱含んでいる

○1月の東海3県の住宅着工戸数は、前年比-7.6%の5,645戸となり5ヶ月連続で減少した。利用関係別では、分譲、貸家、持家いずれもマイナスに寄与した。先行きは、雇用・所得環境の改善とともに住宅着工は徐々に下げ止まってくると見込まれるものの、低水準での推移が続くだろう。

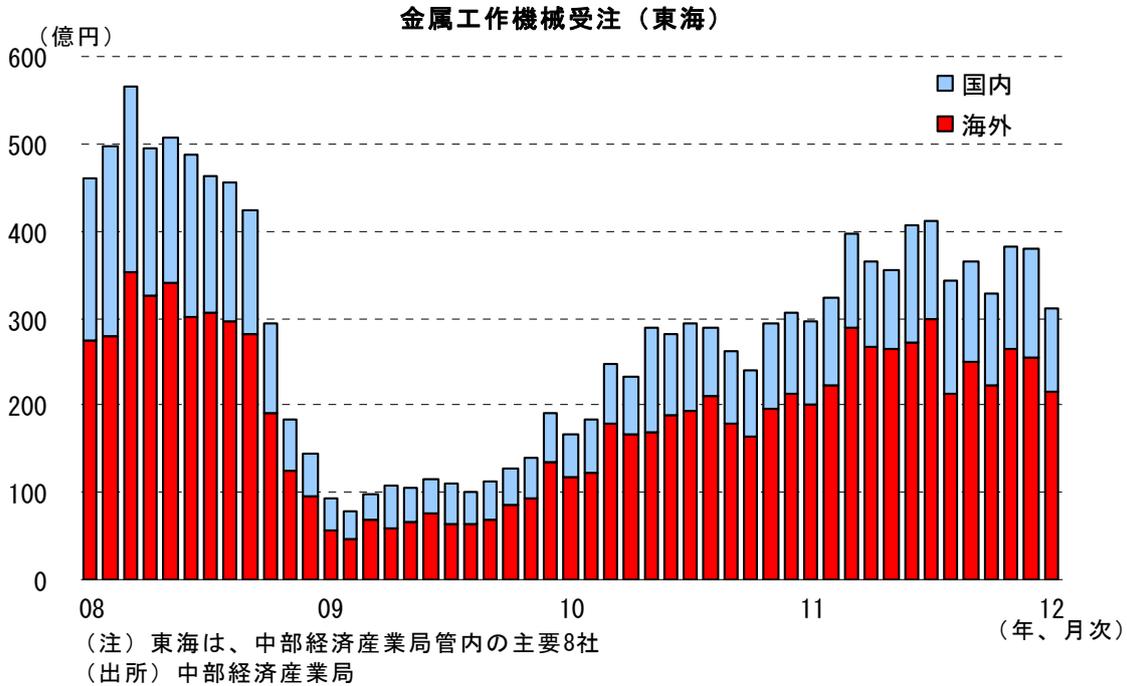


7. 設備投資 ～底堅く推移している

○2011年10～12月期の東海4県の製造業の設備投資は前期比-10.5%と三四半期連続で減少したが、非製造業(ソフトウェアを含む)は前年比+1.7%と二四半期連続で増加した。東海地区の設備投資は底堅く推移している。日銀短観12月調査によると、11年度の設備投資計画は製造業(+13.2%)、非製造業(+5.4%)ともに増加が見込まれている。

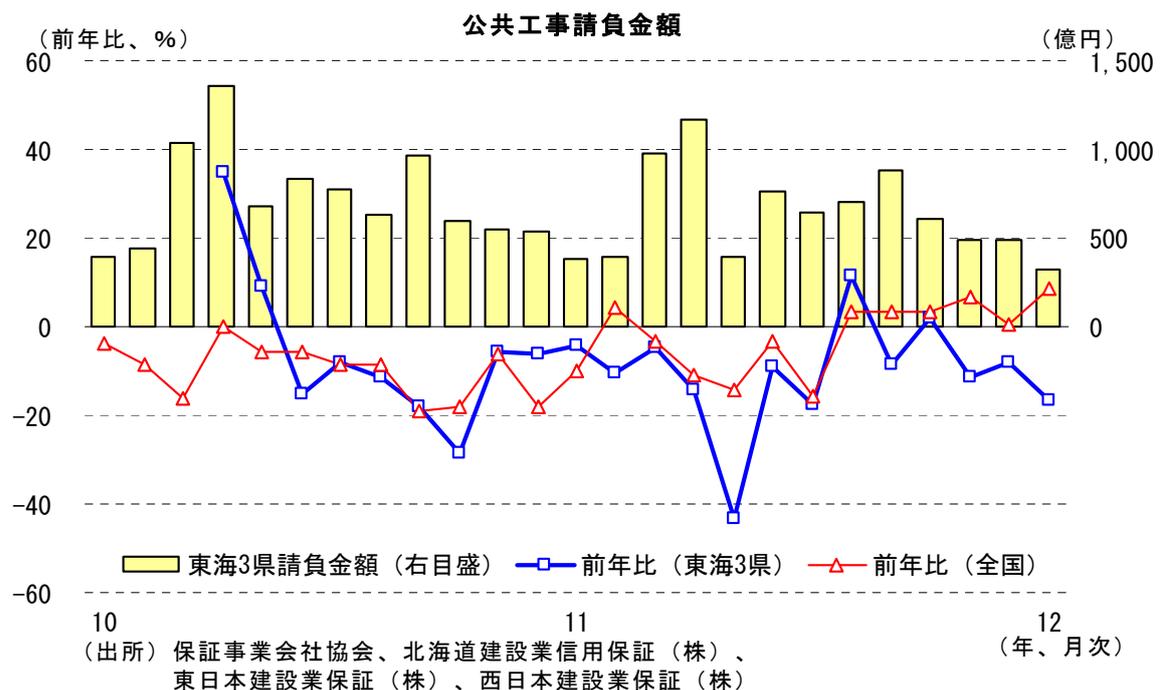


○1月の中部の主要工作機械メーカー8社の総受注額は前年比+4.7%と26カ月連続で上昇した。引き締め効果や欧州向け輸出の鈍化により減速している中国向けが-52.1%、景気低迷が続く欧州向けは-26.1%となった一方で、自動車や航空機産業が堅調な米国向けが+62.1%、インド向けは3.1倍となった。国内受注は自動車向けの受注減で8ヶ月ぶりに減少したが、-0.2%の微減にとどまった。



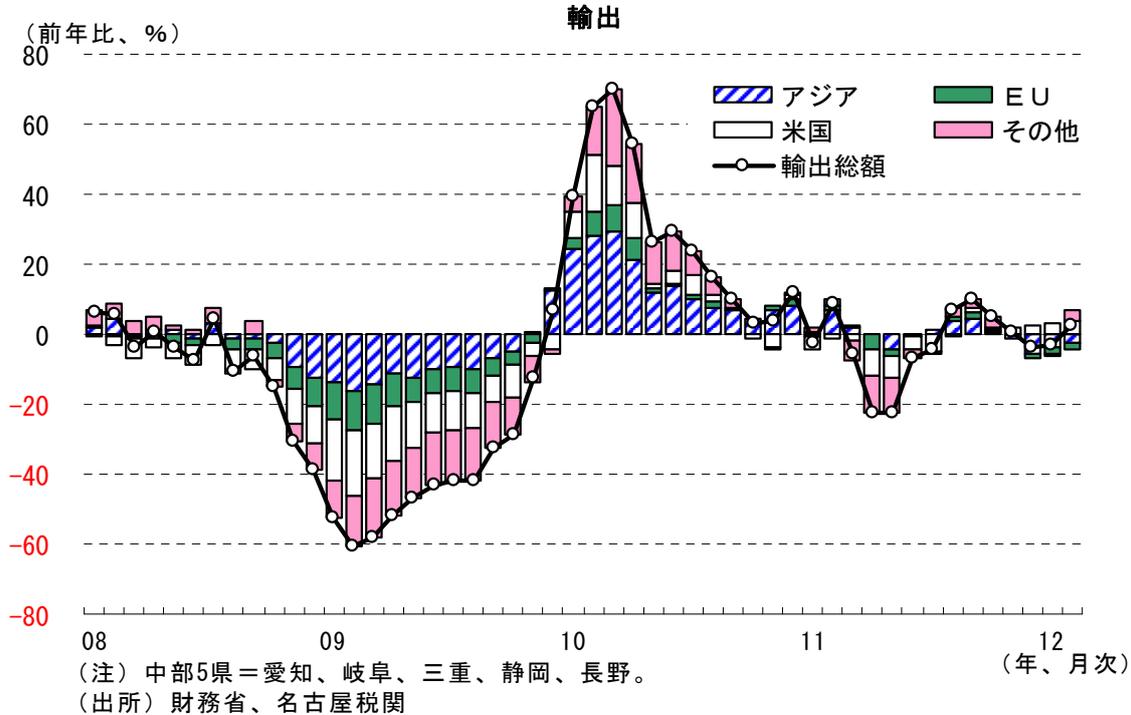
8. 公共投資 ～減少傾向にある

○1月の東海3県の公共工事請負額は、前年比-16.6%の318億円と減少した。国、地方とも増加しており、全国(+8.5%)との格差は拡大している。今後、東日本大震災の復興需要が本格化してくるが、東海地区への波及はほとんど期待できず、公共投資は今後も減少傾向で推移すると見込まれる。

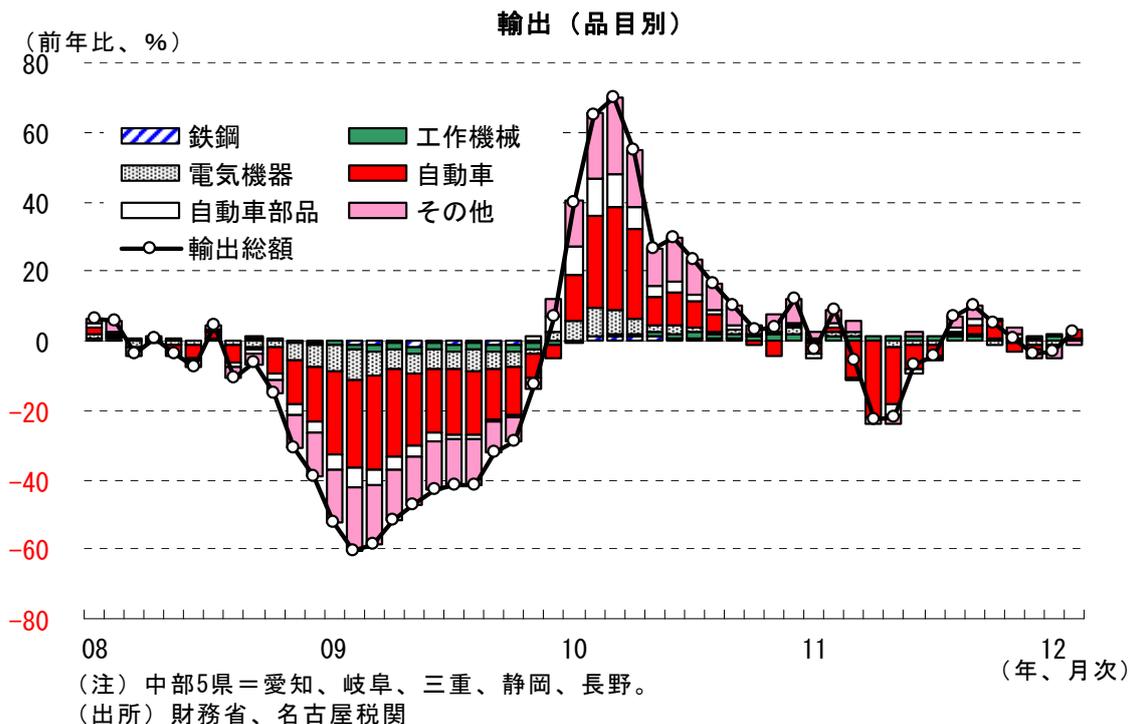


9. 輸出入 ～輸出は下げ止まり、輸入は増加基調

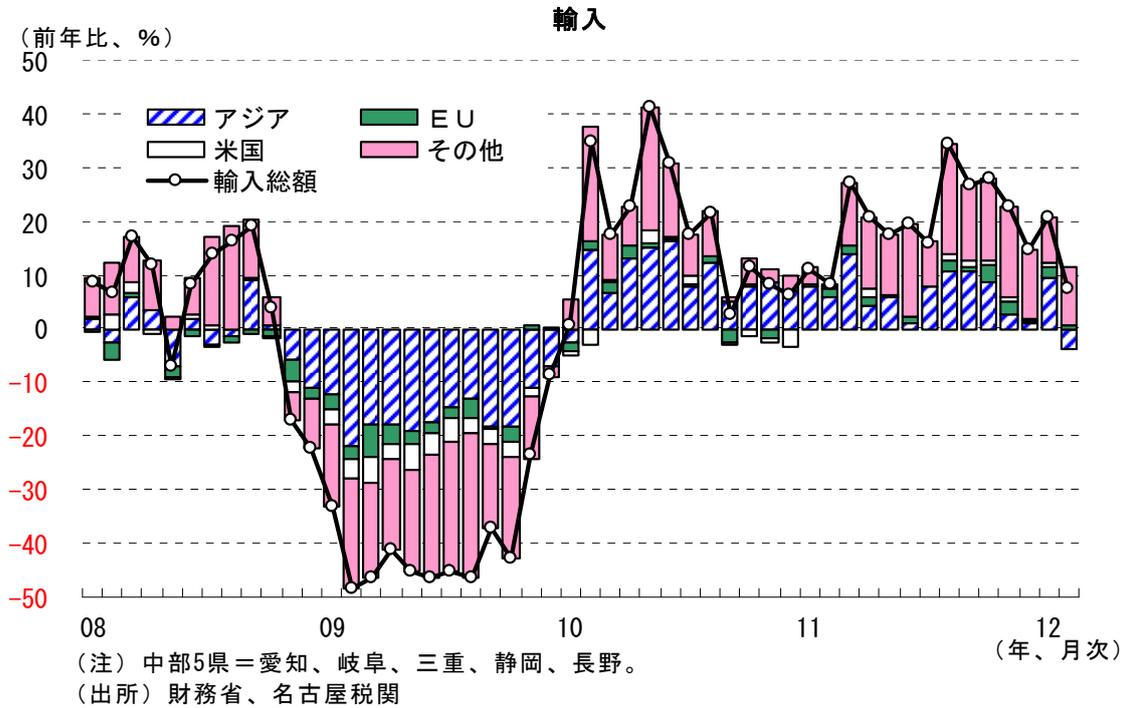
○2月の名古屋税関管内の輸出額は前年比+2.3%と3ヶ月ぶりに増加に転じた。地域別の寄与度をみると、中国などアジア向け（-2.6ポイント）とEU向け（-2.0ポイント）がマイナスに寄与した一方、自動車は堅調な米国向け（+3.7ポイント）が大きく寄与した。



○品目別にみると、自動車（+2.0ポイント）、自動車部品（+0.5ポイント）、工作機械（+0.8ポイント）などがプラス寄与となっている。

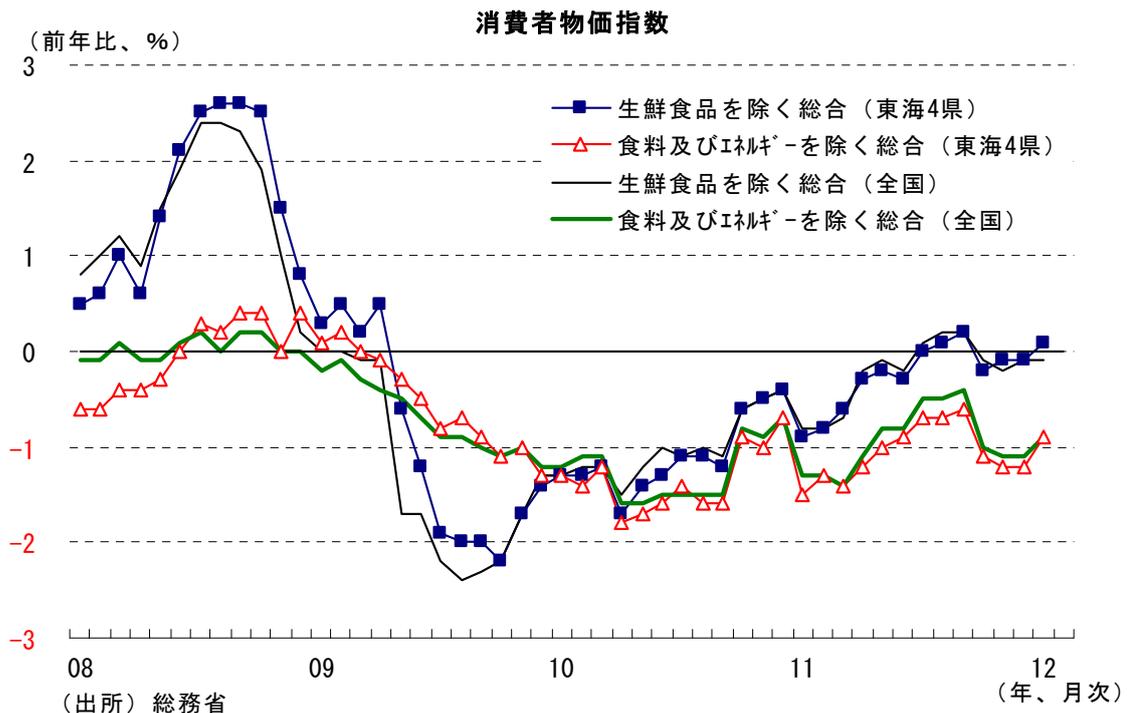


○1月の名古屋税関管内の輸入は前年比+7.6%と26ヶ月連続で増加した。地域別にみると、中東からの原油やLNGガスの輸入が大きく寄与した。今後も、浜岡原子力発電所の停止を背景に鉱物性燃料の輸入を中心に高水準で推移すると見込まれる。



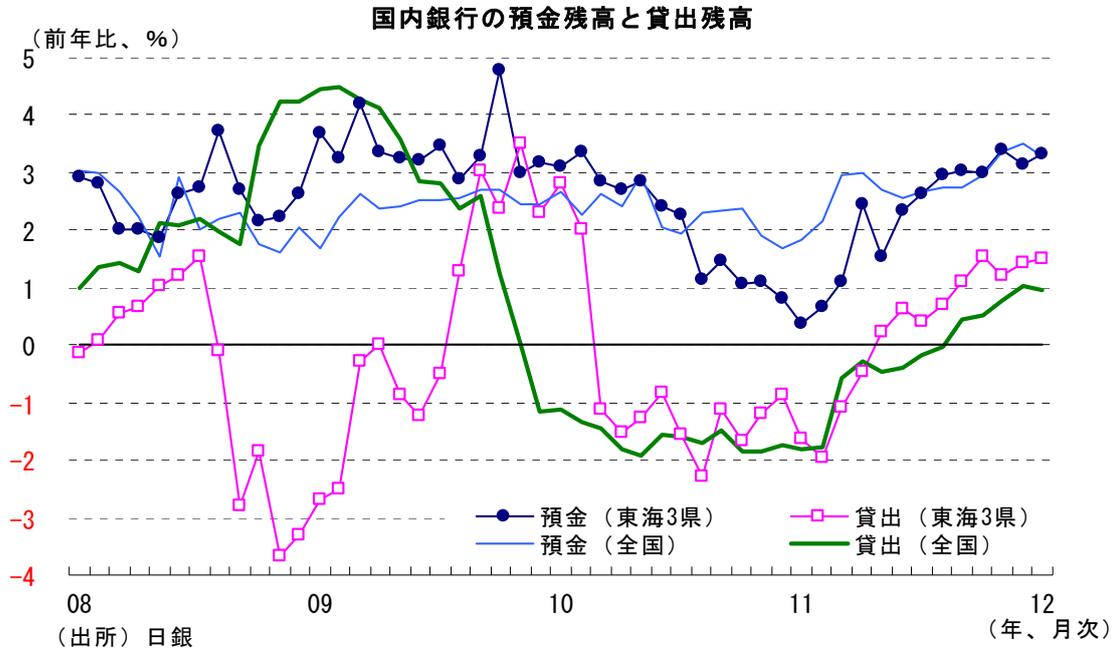
10. 物価 ～消費者物価は横ばい

○1月の東海4県の消費者物価指数は、生鮮食品を除く総合で+0.1%と、ほぼ横ばいで推移している。食料・エネルギーを除く総合は-0.9%と小幅に低下している。家計の所得環境は緩やかに持ち直しているものの依然として物価の上昇圧力は弱い。消費者物価は今後も横ばい圏での推移が見込まれる。



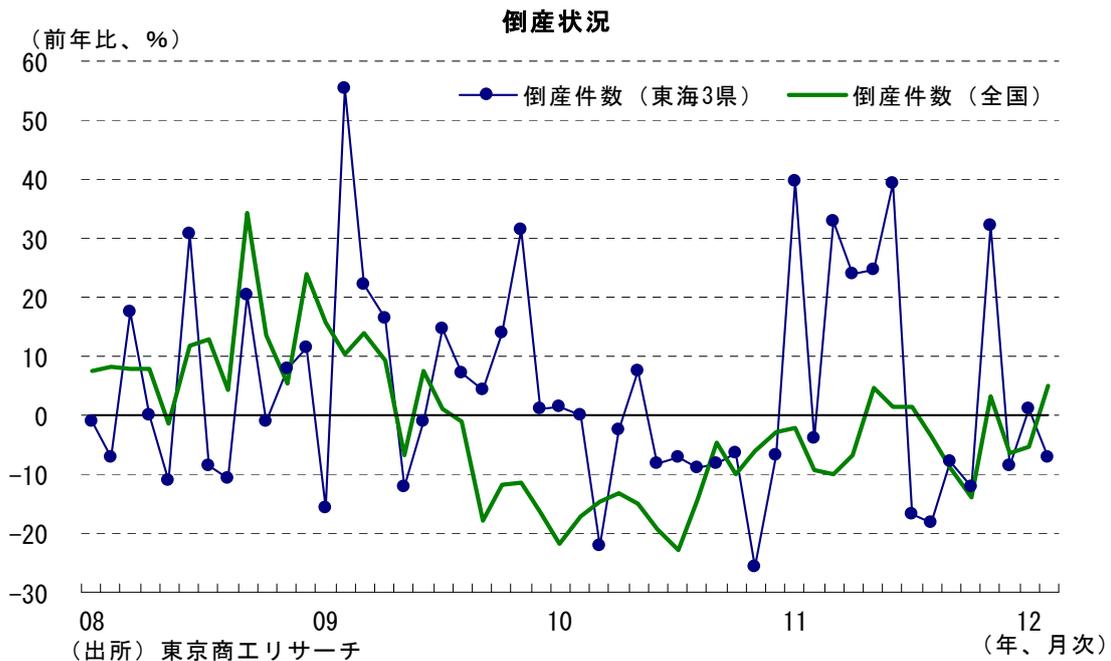
11. 金融 ～預金、貸出ともに増加

○1月の東海3県の預金残高（国内銀行ベース）は前年比+3.3%の45.1兆円となった。一方、1月の貸出残高（国内銀行ベース）は前年比+1.5%の23.1兆円と9ヶ月連続で増加した。住宅ローンが伸び悩む中、中堅・中小の製造業の海外進出やM&Aなどの資金需要は根強く、貸し出しの伸びは全国よりやや高い貸出水準で推移すると見込まれる。



12. 倒産 ～倒産件数は減少

○2月の東海3県の倒産件数は前年比-7.2%の90件と2ヶ月ぶりに減少に転じた。産業別倒産状況では、サービス業、建設業、製造業などで倒産が多くなっている。



【全国及び関西地区との比較】

【今月の景気予報】

		3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後			3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後
景気全般	全国	↗		↗	輸出	全国	→		→
	東海	↗		→		東海	↗		→
	関西	↘		→		関西	↘		→
個人消費	全国	↗		↗	輸入	全国	↗		↗
	東海	→		↗		東海	↗		↗
	関西	↗		↗		関西	↗		↗
住宅投資	全国	↘		↗	生産	全国	↗		↗
	東海	↘		↗		東海	↗		→
	関西	→		→		関西	→		→
設備投資	全国	→		↗	雇用	全国	→		→
	東海	→		→		東海	↗		→
	関西	↘		→		関西	→		→
公共投資	全国	↘		↗	賃金	全国	→		→
	東海	↘		→		東海	↗		→
	関西	↘		↘		関西	→		→



: 晴れ



: 薄日



: 曇り



: 小雨



: 雨

- (注) 1. 3ヶ月前～、～3ヶ月後は「現況」の変化の方向感(改善、横ばい、悪化)を表し、「現況」は現在の水準を天気マークで表す。
 2. シャド一部分は、前月から矢印および天気マークを変更した項目を表す。
 3. 全国は3月2日時点の予報。

【各項目のヘッドライン】

項目		2月のコメント	3月のコメント
1. 景気全般	全国	持ち直しテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している
	東海	—	緩やかに持ち直している
	関西	—	弱含んでいる
2. 生産	全国	持ち直しテンポが緩やかになっている	持ち直している
	東海	—	急速に持ち直している
	関西	—	横ばい圏で推移
3. 雇用	全国	厳しい中で一進一退	厳しい中で一進一退
	東海	—	緩やかに持ち直している
	関西	—	厳しい中で一進一退
4. 賃金	全国	下げ止まりの動き	下げ止まりの動き
	東海	—	緩やかに持ち直している
	関西	—	下げ止まりの動き
5. 個人消費	全国	持ち直している	緩やかに持ち直している
	東海	—	横ばい圏で推移
	関西	—	緩やかに持ち直している
6. 住宅投資	全国	持ち直し基調にある	緩やかな持ち直し基調にある
	東海	—	弱含んでいる
	関西	—	緩やかに持ち直している
7. 設備投資	全国	弱含んでいる	持ち直している
	東海	—	底堅く推移している
	関西	—	弱含んでいる
8. 公共投資	全国	増加は一服している	増加は一服している
	東海	—	減少傾向にある
	関西	—	減少している
9. 輸出入	全国	輸出は横ばい、輸入は増加傾向	輸出は横ばい、輸入は増加傾向
	東海	—	輸出は下げ止まり、輸入は増加基調
	関西	—	輸出は減少傾向、輸入は増加傾向
10. 物価	全国	国内企業物価は緩やかに上昇、消費者物価は弱含み	国内企業物価は緩やかに上昇、消費者物価は弱含み
	東海	—	消費者物価は横ばい
	関西	—	消費者物価は弱含み
11. 金融	全国	銀行貸出、マネースtockともに緩やかに増加	銀行貸出、マネースtockともに緩やかに増加
	東海	—	預金、貸出ともに増加
	関西	—	預金は増加、貸出は減少
12. 倒産	東海	—	倒産件数は減少
	関西	—	倒産件数、負債総額ともに減少

(注) シャドー部分は前月と比較して見方を変更した項目

「グラフで見る東海経済」の見方

【今月の景気判断】

○レポート発表時における景気判断。【今月の景気予報】における各項目の現況をもとに総合的に判断。

【今月の景気予報】

- 3ヶ月前～・・・3ヶ月前～現況の「方向感」を、①改善、②横ばい、③悪化の3段階に分類。
- 現況・・・各項目の現在の「水準」を①晴れ、②薄日、③曇り、④小雨、⑤雨の3段階に分類。
- ～3ヶ月後・・・現況～3ヶ月後の「方向感」を、①改善、②横ばい、③悪化の3段階に分類。

(注)

現況をあらわす天気マークはあくまで「水準」を判断したもので、3ヶ月前～の矢印が①改善、③悪化の場合でも、必ずしも天気マークが変更されるわけではない。

【当面の注目材料】

○各項目の現況、見通しをふまえて、今後景気を判断する上で注目すべきポイント。

【各項目のヘッドライン】

- 全12項目について、毎月簡単なヘッドラインを記載、当月と前月のものを対比して示している。
- 右端は各項目のグラフが掲載されているページ数。

【主要経済指標の推移】

○当レポートで用いられている経済指標の半年間の動きを掲載。

【各項目】

○発表されている経済指標を元に現況の判断、今後の見通しをグラフを用いて解説。

【全国及び関西地区との比較】

○【今月の景気予報】と【各項目のヘッドライン】について、全国（グラフで見る景気予報）と関西地区（グラフで見る関西経済）の判断と、一覧表で比較。

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。